

東京市保育會の近況

記

者

東京市保育會は、昨年秋に萬難を排してめざましく復興の聲をあげ、震災の爲め一層困難を來せる保育事業の爲に大に協力と聲援を致し、會長、藤井利譽君をはじめ、田中視學、倉橋教授、土川顧問の熱心なる贊助の下に望み多き復興第二迎ふるに至つた。

去る一月三十一日、同會は東京市立番町尋常小學校附屬幼稚園に新年會を開催し、會員相互の親睦を計ると同時に、本年度に於ける會の計畫に就いて懇談を交した。當日は月末多端、ことに稀有の降雪ありしにもかゝはず、殆ど全會員出席あり、なほ田中視學、土川顧問も列席された。

開會の辭は、小川幹事急用差支の爲め服部幹事之に代り、引き續き發會後の報告、即ち幹事會、委員會に於ける保姆給の問題と、全國聯合保育會規約の事と、東京女子高等師範附屬幼稚園主事堀七藏君を新に客員として迎へ、同時に前主事倉橋惣三君を顧問とする事とを述べられた。引き續き田中視學は東京保育協會の設立趣旨に就きて演説され、土川顧問の御扶擲の後は、會員諸姉思ひ／＼の五分間演説に移つた。勤儉週間の主旨に背かぬ簡素な美味に打ちくつろいだ一同は常日番外の餘興として、本郷區第一幼稚園保姆諸姉の童謡踊り、土川先生最近振付をされた「あられ」「著音機」と表情遊戯「荒城の月」は全員の手合唱に伴れて、先生自ら優雅な手振り運ばれ、同時のうつろふのを氣づかなかつた。最後の餘興を終つて散開したのは、やゝのびた日脚が早や傾きつくす頃であつた。

此日、よき親睦の交はされた事を誰も喜んで別れたのであつたが、唯一つ遺憾なのは、研究、希望の充ち満ちてゐる若き姉妹方の一言をも聞き得ないことであつた。言ふべき機会を與へられ、言ふべき多くを持ちながら、躊躇するのは現代人の爲すべき事ではない。それでは「進へば立て」といふが、折角復興の東京市保育會、起つどころか進ふことさへもおぼつかない營養不良に陥つてしまふ。(記事脱線の罪を謝す)

なほ同會は本年度事業の第一歩として、來る二月十七日午後三時より番町尋常小學校に於て、最近歐洲に於ける幼稚園事業に就て研究調査を終へて歸朝せられた、小林宗一君のダニクコースリトミックの講演と實演を催す事になつた。

(續、二一五)

兼 ち ゃ ん

東京女子高等師範學校教授

岡 田 美 津

第三 お茶の會

田村一家は「原田の叔母さん」の家へ、お茶に招かれて行く途甲だつた。心配氣なお芳は、叔母さんのうちへ行つての行儀について、兼ちゃんにいつてきかせてゐるところだつた。